

# 蘭越町の津波避難対策



蘭越町総務課企画防災対策室

# 説明内容

- 蘭越町の概要
- 過去の津波による被害状況
- 港地区の地震・津波避難計画
- 地震・津波避難訓練
- 今後の課題

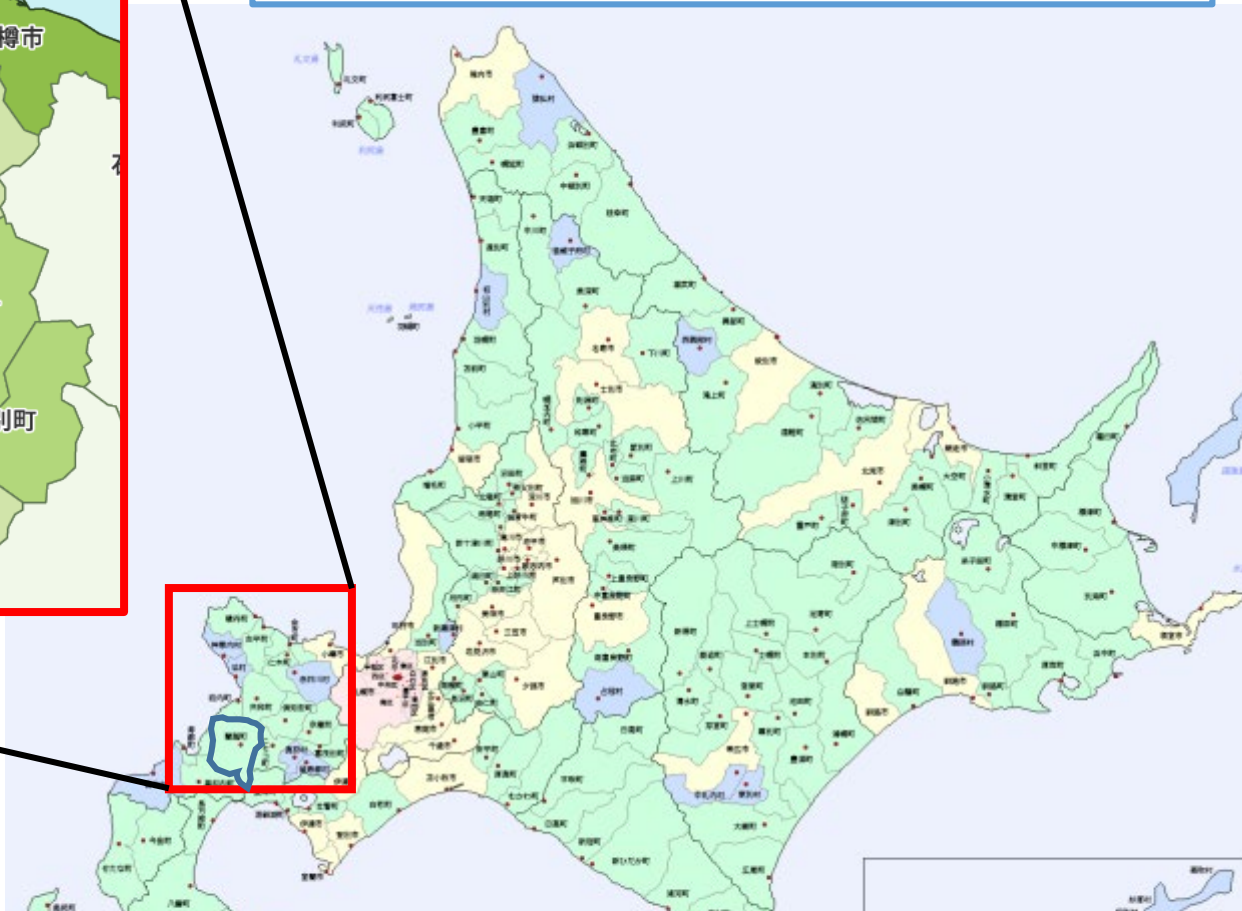
# 蘭越町の概要

# 蘭越町の概要

## 後志管区

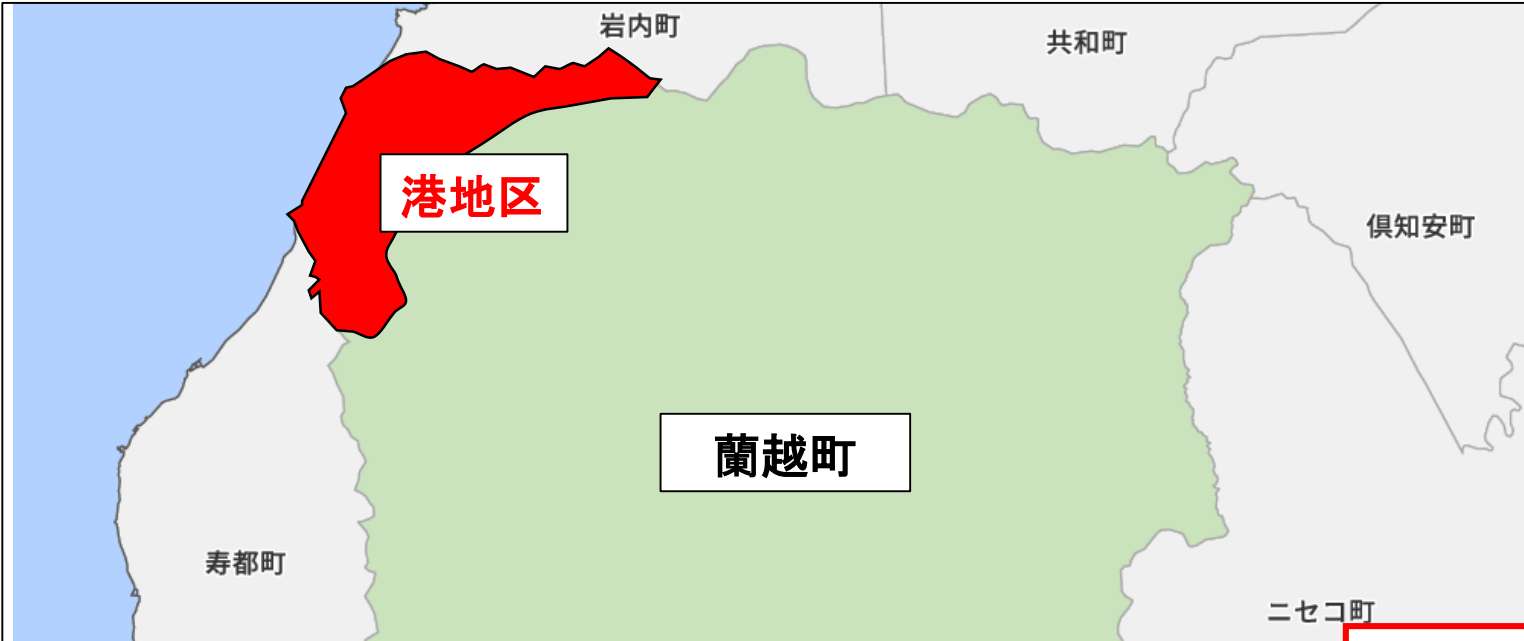


北海道の南部、後志総合振興局管内の南西部に位置する。



地形は、やや正方形をなし、7つの自治体（豊浦町、ニセコ町、倶知安町、共和町、岩内町、寿都町及び黒松内町）が隣接する町

# 蘭越町において津波災害が予想される港地区の概要



港地区の年代別人口

45.8%

区 分	人口	10歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
港1町内会	37	2	2	2	4	2	6	5	2	11	1
港2町内会	32	0	0	0	2	2	4	3	16	6	0
港3町内会	45	0	3	2	5	2	8	6	9	7	3
港4町内会	23	0	0	0	3	0	3	9	2	5	1
港5町内会	7	0	0	0	0	0	0	4	2	1	0
地区合計	144	2	5	4	14	6	21	27	31	30	5
全体比率		1.4%	3.5%	2.8%	9.7%	4.2%	14.6%	18.8%	21.5	20.8%	3.5%

# 過去の津波による被害状況

過去の津波による被害は、**北海道南西沖地震**による**1度だけ**であり、その細部については、下表のとおり。

地震の概要	平成5年7月12日午後10時17分、北海道南西沖深さ35kmを震源とするマグニチュード7.8の地震が発生
被害の概要	尻別川築堤、道路、農地の決壊、農業揚水機、住宅などの損傷があり、 <b>同時に津波が発生し、港地区がその被害を受けた。</b> <b>(※海岸に近い住宅地では、床上まで浸水)</b>
被害額	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 住宅被害 48,686千円</li><li>▪ 農業被害 632,598千円</li><li>▪ 土木被害 274,100千円</li><li>▪ 水産被害 11,882千円</li><li>▪ 尻別川築堤その他の被害 2,532,732千円</li> <li>■ 被害総額 3,499,998千円 (約35億円)</li></ul> <p><b>※各被害額は、地震及び津波被害の合算額</b></p>

# 港地区の地震・津波避難計画



# 令和3年11月までの指定緊急避難場所等全般配置（町内会別）

日本海

尻別川



①大照寺：港1町内会・2町内会・3町内会



④道道磯谷蘭越線（高台）：港4町内会



⑤鷺の沢神社：港5町内会



③北尻別蘭越停車場（高台）  
：港3町内会の一部

# 現在の指定緊急避難場所等全般配置（町内会別）

日本海



①大照寺：港1町内会



④道道磯谷蘭越線高台：港4町内会



⑤鷺の沢神社：港5町内会



②津波避難タワー：港2・3町内会



③北尻別蘭越停車場：港3町内会の一部

尻別川

# 津波避難タワー建設の経緯

凡 例

避難経路

指定緊急避難場所  
(大照寺)

津波避難タワー

国道229号線

指定された緊急避難場所は、国道より海側に位置し、避難者の半数が国道より内陸側に居住しており一部の住民は**海**の方向に避難することに**心理的恐怖**を感じており、周囲に**適当な高台**がないことから、新たな避難場所として**津波襲来時の緊急避難場所**と**一時的に居住できる避難所の機能**を持つ**施設の設置**を強く求められていた。

# 港地区津波避難タワー

■ 国の「都市防災総合推進事業」を活用して整備



- 令和3年12月5日竣工、同日より運用開始
- 収容人員：80名（港2町内会・3町内会の住民全員収容可能）
- 避難日数を3日間と想定し、生活必需品などを備蓄
- トイレ3箇所、洗面所3箇所、更衣室2室
- 暖房設備：避難室にガストーブ3台、廊下に1台完備

# 地震・津波避難訓練

# 地震・津波避難訓練の実施状況

# 蘭越町(港地区)の人口と訓練参加者数の推移

訓練実施年度	蘭越町総人口	港地区人口	訓練参加者数	参加率
平成23年	5,335人	231人	50人	21.6%
平成24年	5,226人	220人	46人	20.9%
平成25年	5,171人	209人	45人	21.5%
平成26年	5,038人	195人	59人	30.2%
平成27年	4,953人	189人	48人	25.3%
平成28年	4,860人	193人	41人	21.2%
平成29年	4,788人	182人	33人	18.1%
平成30年	4,659人	173人	30人	17.3%
令和元年	4,634人	170人	29人	17.0%
令和2年	4,550人	163人	24人	14.7%
令和3年	4,505人	152人	34人	22.3%
令和4年	4,444人	149人	26人	17.4%

※人口は、当該年4月1日(基準)を記述

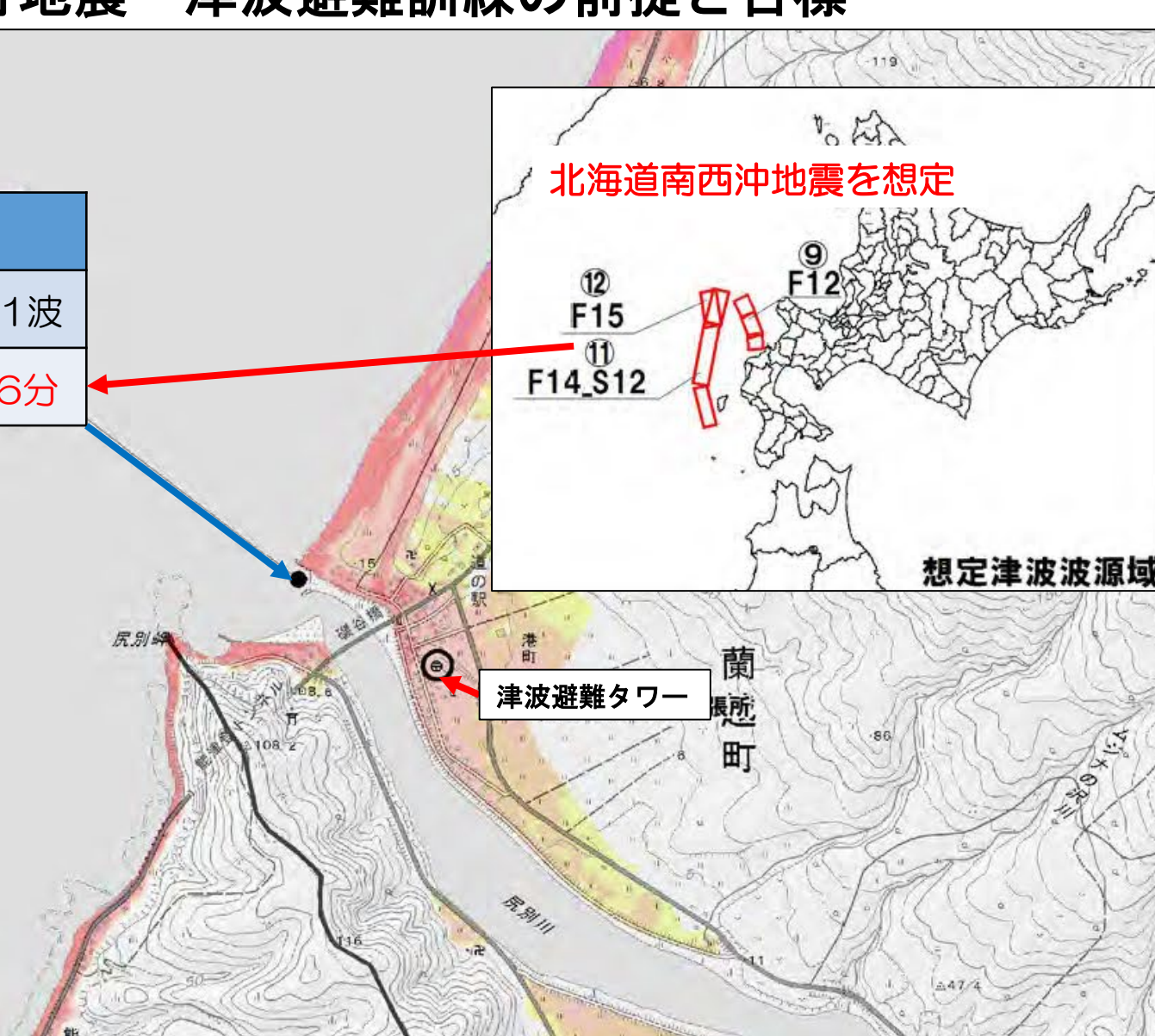
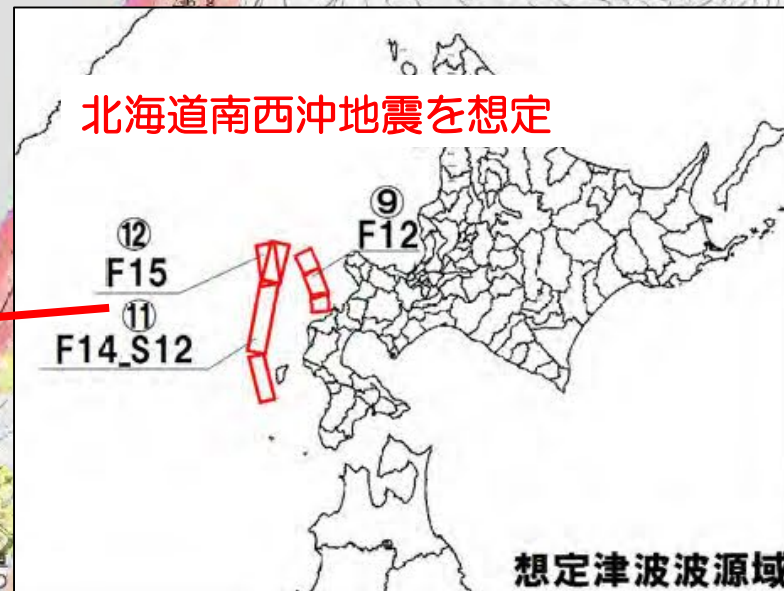
※参加率：小数点2位以下切り捨て

# 最近の地震・津波避難訓練 実施状況（令和4年度）



# 蘭越町地震・津波避難訓練の前提と目標

尻別漁港		
No.	最大遡上高	第1波
⑪	13.83m	16分



本地震津波避難訓練は、最大規模の津波として北海道南西沖で発生する地震による津波を想定して「16分以内」に避難することを達成すべき目標に設定

# 各緊急避難場所周辺における住民の避難行動実施状況



道道北尻別蘭越停車場線の高台へ避難



津波避難タワーへ避難



大照寺へ避難



道道磯谷蘭越線の高台へ避難

# 訓練に参加した住民へ訓練実施成果を説明

町

練

避難所要時間	
避難所要時間（今年度）	
① 大福寺	6分 ～ 10分
② 津波避難タワー	8分 ～ 15分
③ 遊道北所別館特等車道線	3分 ～ 7分
④ 遊道横谷繁林線	10分
⑤ 龍の沢神社	0分

避難要否を各自が判断し避難時間（10分）以内に避難完了

【参考】避難所要時間（昨年年度成果）	
① 大福寺	2分 ～ 8分
② 津波避難タワー	2分 ～ 15分
③ 遊道北所別館特等車道線	5分 ～ 7分
④ 遊道横谷繁林線	7分
⑤ 龍の沢神社	9分



# 防災関係機関等の有識者による防災講話の実施



札幌管区気象台地震津波防災官による防災講話

# 防災備蓄品（段ボールベット）の説明



# 陸上自衛隊（倶知安駐屯地所在部隊）による炊き出し支援



# 訓練終了後、自衛隊員による炊き出し品等の配布



# 今後の課題



## 今後の課題

- 自助・共助意識の高揚
- 実効性ある個別避難計画
- 冬季の避難対策

# 蘭越町の津波避難対策



蘭越町総務課企画防災対策室